

第10回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和7年7月11日（金）19時-20時30分 姫路市総合福祉会館



リハ職が書いた情報提供書（リハビリテーション計画書）をケアマネジャーとリハ職が一緒に読み取ることで、《ケアマネ》生活機能の今後の可能性（将来予測）や、生活上の注意をどうやって確認するか

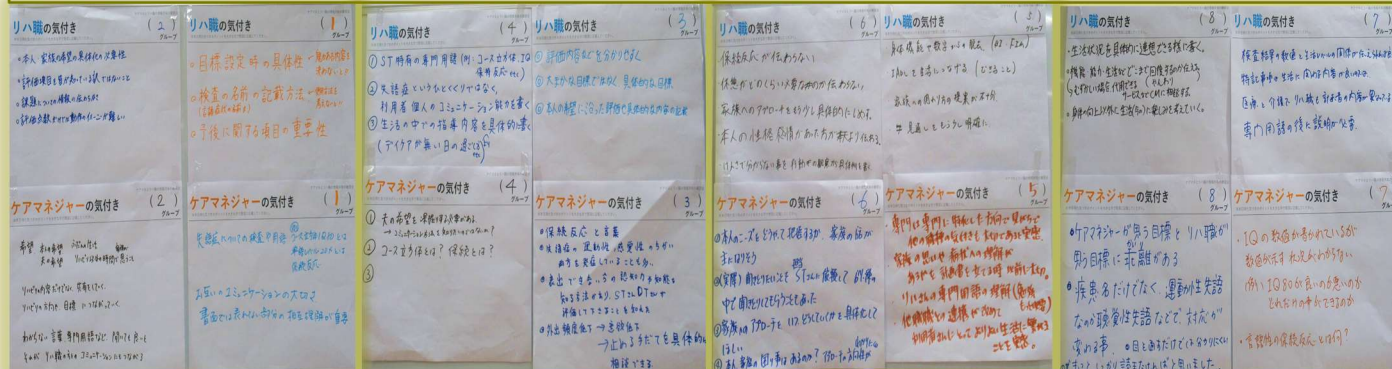
《リハ職》情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。

第10回は、ケアマネジャー12名、リハ職27名、その他の職種1名（計40名）が参加されました。

今回は、言語聴覚士会より「日々の生活の中で楽しみを見出したい失語症の事例」の事例提供をいただき、8グループに分かれて話し合いを行いました。計画書に記載された情報で分からない事などを聞き合いながら、目標設定に向けてケアマネとリハ職が何に着眼し、どのように共有すればよいのか、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ♪ 気づき用紙を活用し、ケアマネ・リハ職がそれぞれにまとめ共有しました ♪



参加者アンケート回答（一部抜粋）

- ・この研修会に参加することで、自宅での生活場面を具体的に改善するためにリハ職と意見交換をすることができるようになった（ケアマネ）
- ・計画書から生活動作のどのようなところに注意しないといけないのかという点に目を向けていきたい（その他）
- ・具体的な目標設定の大切さを認識できました（ケアマネ）
- ・多職種でのグループワークで、いろんな視点からの意見が聞くことができたので、得ることが多かった（ケアマネ）
- ・目標や評価はより具体的に書く必要があると感じました（リハ職）
- ・他職種で話し合うことで分からないことがたくさん出てくるので、課題を見つける良い機会に感じました（リハ職）
- ・今後のリハ計画書の作成時、より生活に即した内容を記入するように気をつけたい（リハ職）
- ・CMとしての視点や考え方を色々知る事が出来て良かった（リハ職）

次回の「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は11月12日（水）姫路市医師会館にて開催予定です！ 今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます